

「麒麟のまち」圏域における連携事業について

1 広域連携「麒麟のまち」の取組（1市6町）

地理的及び歴史的な背景から、経済・文化等の様々な面で深いつながりがある鳥取県東部（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町）及び兵庫県北但西部（香美町、新温泉町）の1市6町（通称：“麒麟のまち”）圏域は、地方創生の一環として、観光振興の推進、移住定住の促進等の広域連携事業に積極的に取り組んでいます。

（1）観光振興の推進

「麒麟のまち」圏域では、観光ルートの創出や観光ガイドアプリの設置等、連携した取り組みを展開しています。平成30年1月25日に、地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」を設立し、策定した「観光グランドデザイン」を基に様々な事業を展開し、一層、広域観光の振興を図ります。

（2）移住定住の促進



東京京橋 移住・交流情報ガーデンでの相談会

ふるさと・田舎回帰の促進に向け、「麒麟のまち」圏域では、県内外への情報発信や田舎暮らし環境の充実を図り、移住定住を促進しています。首都圏・関西圏で1市6町が合同で相談会を開催するなど、県外から麒麟のまち圏域への移住促進を図っています。

（3）「麒麟のまち」関西情報発信拠点整備

麒麟のまち圏域をPRする「麒麟のまち」関西情報発信拠点を整備しました（平成29年4月10日リニューアルオープン）。今後も「麒麟のまち」圏域の情報発信を積極的に行い、交流人口の増加、地元製品の販路拡大、移住定住の促進を図ります。



大阪中之島フェスティバルタワー地下1Fに整備

2 連携中枢都市圏の形成について

- 連携中枢都市圏構想は、地方創生の一環であり、鳥取県東部広域行政管理組合、ふるさと市町村圏、コリドー21、鳥取・因幡定住自立圏、麒麟のまち創生戦略会議など、これまでの広域圏での取組を一層、拡充・発展させていきたいと考えています。
- 鳥取県東部地域と兵庫県北但西部地域は、麒麟のまち圏域として広域観光振興・移住促進等に取り組んできており、この度、中核市への移行に伴い、1市5町（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町）で連携中枢都市圏形成に向けて取り組みを進めています。
- 連携中枢都市圏構想については、地方創生の取組を停滞させることなく、継続的・安定的かつ効果的に実施していくために、中核市移行と同時での形成を目指しています。

(1) 連携中枢都市圏形成の目的

人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、国民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするためには、地域において、相当の規模と中核性を備える中心都市が近隣の町と連携し、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことにより、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することです。

(2) 連携中枢都市圏ビジョン策定に係る官民の連携

現在、圏域の中長期的な将来像や具体的な連携の取組み等をまとめた「連携中枢都市圏ビジョン」を策定中です。

策定においては、産業、大学・研究機関、金融機関、医療、福祉、教育、地域公共交通、各町の代表者で構成する連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催するとともに、1市5町でパブリックコメントを実施するなど、圏域みなさまの意見を幅広く反映させています。

これまで連携・協力をして取り組んできたこと

○山陰海岸ジオパーク推進協議会 ○定住自立圏 ○麒麟のまち 等

★連携中枢都市圏の形成
★取組のパワーアップ



【財源は国の支援措置を活用】

地方創生の一層の拡充・発展

産業振興、医療・介護・福祉の連携、教育・文化・スポーツの振興、災害・環境の取組
地域公共交通・ICT インフラ整備、移住促進等、様々な分野での連携事業の実施

⇒ 圏域全体の活性化・持続的発展